

第7回 西宮市緑の基本計画改定検討会 議事録(発言要旨)

■日 時：令和2年2月14日(金) 14:00～15:30

■場 所：西宮市役所 本庁舎 681 会議室

■出席委員：平田座長、梶木副座長、栗本委員、栗野委員、長岡委員

■事務局：土木局長 他 12 名

■議 事：(1) 第6回 改定検討会におけるご意見について
(2) パブリックコメントの結果及び市の考え方について
(3) 計画(案)について
(4) その他

■議 事 録：(「⇒」は意見・質問に対する回答又は関連する意見等を示す。)

(1) 第6回 改定検討会におけるご意見について

- ・ 特に意見等なし。

(2) パブリックコメントの結果及び市の考え方について

- ・ パブリックコメント(以下、「パブコメ」と表記)の公開方法として、市政ニュースで公開されるとのことであるが、どのようなものか。また、掲載時期はいつ頃か。【委員】
⇒ 市政ニュースは、毎月、市が発行している広報であり、ホームページでも掲載する。掲載時期は、議会報告後の3月末頃を予定している。【事務局】
 - ・ パブコメにご意見を寄せる方は、みどり分野の関心が高い方かと思われ、真摯に受け止めるべき意見も少なくない。計画に反映するかどうかは別としても、もう少し丁寧な回答が望まれる。具体的には、以下の点について留意されたい。【委員】
 - ・ No. 3, 4：オリジナルフラワーの意義を問うご意見であるが、オリジナルフラワーに力を入れる狙いについて回答することが望まれる。
 - ・ No. 8*：回答として、「ガイドラインにより広場の確保が必要とされています」とあるが、他人事のように受け取られる。
 - ※：No. 8 の回答について、事前送付資料に不備があり、当日配布版では「ガイドライン」との記載を削除・修正している。なお、アサヒビール跡地については、県立病院の整備と併せて3,000m²の公園を整備することが決定している。【事務局】
 - ・ No. 14, 15：公園の中で樹木と人が切り離されている印象を受けているといったご意見であるが、観賞する樹木と、体感する樹木(触れ合うための樹木)を意識しながら配置されるとよいと思われる。
 - ・ No. 20, 23：市民側から主体的に関わる場を作るといった、大変貴重なご意見である。検討会の中でも、行政側から施策として発信するだけでなく、双方向でコミュニケーションを図りながら推進できると良いといった意見もあったかと思う。そのため、回答についても、ありがたいご意見であることが表現されているとよいと思われる。
 - ・ No. 31：コバノミツバツツジに関する否定的なご意見であるが、回答として、なぜコバノミツバツツジを推されているのか、市の思いを説明されるとよい。
 - ・ No. 39：回答の「四季の移ろいの変化」は、二重表現になっているため修正が必要。
- ⇒ 「①」であれば「素案に記載済みの内容です」とのことであるため、「何ページのどこに書いてある」といった記載が求められる。また、「③」であれば「今後の参考・検討とします」とのことであるが、いただいたご意見のどの部分をどのように活用していきたいの

か明記されるとよい。いただいたご意見をしっかりと受け止め、回答を返すようにしてもらいたい。【委員】

⇒ ご指摘いただいた以外のご意見も精査し、対応を検討する。【事務局】

(3) 計画(案)について

① 資料3に関する意見等

- ・ p.9の農地の写真のキャプションで「西宮流提供」の「西宮流」とは何か。【委員】
⇒ 「にしのみやりゅう」と書いて「にしのみやスタイル」と称する団体で、特に、観光関係の情報発信をしている。【事務局】
- ・ p.34の県立芸術文化センターの写真について、もっと良い写真はないのか。【委員】
⇒ 写真の採用については、現在、全てのものについて再検討中である。県立芸術文化センターについても、まちなみ緑化の誘導に係るイメージ写真であるため、「公共施設の緑化推進」にも係るものであるが、住宅地等のまちなみの写真に変更するか悩んでいるところである。【事務局】
- ・ p.39の表17について、縦横の表題がふさわしくないのではないか。表中の「みどりに関するまちづくりの課題」として(1)～(6)が挙げられているが、p.25～26では節タイトル「課題解決に向けた目標(目指す姿)」の中で、同一の(1)～(6)が挙げており、整合していないと思われる。【委員】
⇒ p.39の表中の「目標」においては、p.25～26の本文中の「《目標》」が示されているものである。「みどりに関するまちづくりの課題」は、p.24の図23の最下段で抽出されたものである。【事務局】
⇒ p.23からp.38の流れがp.39の表17と対応するはずであるが、表の中でその流れが分かりづらいため、表現の工夫が必要ではないか。【委員】
⇒ p.27の図24の流れとの整合を考えると、p.39の表17の最上段に「基本理念」をもってくれば整合すると思われる。なお、詳細については、事務局で検討する。【事務局】
- ・ p.39の表17の指標「配置バランスとニーズに合わせた公園整備」は、内容がイメージしづらいが、どういった指標か。【委員】
⇒ p.29の表15において示しているが、生産緑地地区の公園化等により、「市民1人当たりの公園緑地面積」を増やしていこうといった指標である。【事務局】
⇒ その指標として「市民1人当たりの公園緑地面積」が妥当なのは少々疑問ではあるが、生産緑地地区の活用により、「配置バランスとニーズ」を満たしていくということで読み替えるものか。【委員】
⇒ 地域別行動計画において、公園が不足しているところに公園整備を検討しているもので、この指標を「JR以北における市民1人当たりの公園緑地面積」としてしまうと、全体の指標としてはふさわしくなくなるため、全体的な配置のバランスとニーズに配慮しながら、全市的な公園の充足度を満たしていくという意味での指標としている。なお、郊外に大規模公園ができれば、1人当たりの公園面積は増えるが、そういったものではなく、公園の地域偏在を解消しながら、市全体の公園を増やしていこうという意図である。【事務局】
⇒ 説明はよく分かったが、ほかの指標と比較して、本件の記載内容としては説明不足かと思われる。今の説明からすると、「配置バランス」というより、「地域バランス」といった方が適切か。【委員】

⇒ 問題は公園の地域偏在であり、「地域バランス」というと、市域レベルで見ても、3地域レベルで見ても、小学校区レベルで見ても公園の整備状況には偏在がある。基本的には、各公園の誘致距離を考えながら、公園配置を考えていったときに、現状で公園が不足しているエリアと生産緑地地区の配置がうまく一致しているため、こうした生産緑地地区を活用しながらバランスよく公園を整備していく、というものである。【事務局】

- ・ p. 45 の JR 以北での「⑤新規公園の整備」で想定されている公園は、花のコミュニティ花壇と一体的に整備されるのか。計画の中では、花と緑のまちづくりリーダーの養成も挙げていたため、活動の場という意味で一緒に整備されるのか。【委員】

⇒ 花のコミュニティ花壇については、地域で花壇活動をされる方がいて初めてできるものであるため、公園の新設であれ、リノベーションであれ、そうした方がいらっしゃれば話し合いの中で機運があれば検討していく。また、花のコミュニティ花壇だけではなく、公園の美化活動等も含めて、行政側からもそうした場においては積極的にアプローチしていきたい。【事務局】

- ・ 資料3の本文に関して、以下の点について確認されたい。【委員】

- ・ p. 23 の表 11 にある「ICT分野」については用語集にて説明を記載すべき。
- ・ p. 25 の「(3)健康で心豊かな暮らしを支える」の本文中で、これまでの議論や計画書のほかの記載状況を踏まえ、「多世代の交流」という視点から、「親しめる公園や自然環境」とあるが、「親しみ、多世代が交流できる公園や自然環境」とした方が良い。
- ・ p. 35 の「d) 公園施設の更新」に関して、「24 箇所の公園の遊具と 6 箇所の公園のトイレを更新」とあるが、それぞれ対象となる遊具とトイレの数について母数が分かるのであれば、ほかの記述に合わせて、入れておいた方が進捗も分かりやすいのではないか。

⇒ 現状、遊具は約 2 千基あるうちの 100 基程、トイレも 100 箇所くらいあるうちの 6 箇所、という状況であり、少々書きづらい面がある。【事務局】

⇒ 記載については、お任せする。【委員】

- ・ p. 42 の「②ナシオン創造の森での里山保全活動」の本文中に、「環境省の『生物多様性保全上重要な里地里山』」とあるが、環境省では「(500 箇所)」という記載がある。500 箇所に選定されていることも非常に喜ばしいことでもあるため、数字を追記していただきたい。
- ・ p. 45-46 の「⑤新規公園の整備」について、本文中の最後に「生産緑地地区の活用を検討します」とあるが、ほかでの記載やパブコメ対応も含めて、「生産緑地地区の活用も検討します」とした方がよい。
- ・ p. 51 の「(2)公園の改修整備」の「【改修方針】」について、1 ポツ目の「トイレのバリアフリー化」と 3 ポツ目の「トイレのバリアフリー化」が重複しているため気になった。
- ・ また、同一箇所の 5 ポツ目の「※」の箇所について、手押し井戸ポンプの「6 箇所」とオンサイト化の「6 箇所」が、偶然同じ箇所数になっているが、これらはそれぞれ関係あるのかないのか判断がつかず分かりづらい。【委員】

⇒ それぞれのご指摘に関しては、修正対応を検討する。【事務局】

② デザイン版に関する意見等

- ・ p. 2-3 の特に第 4 章、第 5 章の色の区別が分かりにくい。第 4 章のように少ないページ数であると、似た色だと分かりづらくなると思われる。【委員】

⇒ 本資料は、事務所のプリンターで出力したものであり、発行時には用紙も含めて色味は

変わる。なお、配色については再度検討する。【事務局】

- ・ p. 26 の図 23 と p. 30 の図 24 は、資料 3 の各図とは随分とデザインが異なるがどうか。【委員】
 - ⇒ レイアウト版については現在、デザイナーがイメージ案として作成した初版のもので、決定したものではない。現在、デザインについては検討中であり、イラストとして流れを示すのか、ストーリーを持たせるのか、悩んでいる状況。【事務局】
 - ⇒ 好みもあろうが、図解してまで説明しようとしている、その思いが伝わるようなデザインができるとうい。【委員】
- ・ p. 31～32 の各指標について、資料 3 ではタイトルに括弧番号や丸番号が記載されていたが、デザイン版ではこうした番号が抜けており、資料を読みながら関係性を追っていく形になっている。【委員】
- ・ p. 39 のコラム「遊具の『リスク』と『ハザード』の違い」について、掲載写真が整備前・整備後とあるが、同じ場所の写真の方が望ましい。また、リスクとハザードという観点から、採用されている写真が適切とはいえない。リスクは子供の成長のために挑戦させても良いものであり、明らかに危ないものがハザードであるはずなので、整備前・整備後といった写真は趣旨にそぐわないと思われる。【委員】
 - ⇒ 掲載写真については同じ場所を示しており、撮影時のアングルが異なるものである。【事務局】
 - ⇒ リスクを表す写真は難しいと思われるが、何かに挑戦しているような状況の写真があるとよい。【委員】
 - ⇒ 場合によっては、イラストになるかもしれないが、検討する。【事務局】
- ・ p. 57 の人物イラストはフリー素材でよく見かけるものであり、もう少しオリジナリティをだされてはどうか。【委員】
- ・ 図、表という表記について、デザイン版の p. 5 の図 2 など、図なのか表なのか分かりづらい部分がある。これらは番号を入れた方が良いのか。【委員】
 - ⇒ 特に、アンケート結果など文章の中で図表番号を示しながら説明を行っている。デザイン版としては構成として残しているものである。【事務局】
 - ⇒ アンケートのところについては標記があった方がわかりやすいが、その他のところではタイトルだけでもよいのではないか。【委員】
- ・ デザイン版の図・表タイトルの挿入位置について、図は下、表が上というのが論文等ではセオリーであるが、全て上になっているのは違和感がある。【委員】
 - ⇒ 「図」、「表」と分けるのではなく、全て「図表」として連番にして、上なら上にまとめてしまえばどうか。【事務局】
 - ⇒ 修正が大変であれば、章ごとに、第 3 章であれば「図表 3-1」などのように番号を振り分けてはどうか。【委員】
- ・ デザイン版でコラムが追加され、2 段組の表記となっているが、p. 25 の表 11 も含めて、文章ばかりの 2 段組のレイアウトは読みづらい。【委員】

(4) その他（委員からのコメント）

- ・ 生物多様性の観点を入れてもらえたのはありがたかった。これからの西宮市には、市民力を高め、市民のやる気を丁寧に受け止めながら、計画を推進していってほしい。【委員】
- ・ 計画を推進するに当たっては、子供を中心に進めていくことで上手くいくのではないかと考

えている。自然豊かな西宮であるため、先生の負担増には配慮しつつ、学校を中心として発信する場として地域の人が集まり、自分の得意分野で力を発揮しつつ、自然環境に親しんでもらい、西宮市に愛着を持ってもらえるようにできるとよい。【委員】

- ・ 子供アンケートも行ってもらい、市民アンケートも回収率が高く実施できたことは評価できる。今後は、計画指標の達成が課題となると考えられるが、公園自体に「招かれている」という雰囲気形成できると人がより集まると思われる。そのためのハード整備として、ベンチ等の人々が休憩できる施設が重要で、管理上大変になるかとは思いますが、いろいろな素敵なベンチがたくさんあると良いと思われる。【委員】
- ・ 普段から花と緑のまちづくりリーダーとして意見を言わせてもらっているが、これからもリーダーを増やし、花コミ花壇を増やして、市民参画の取組を拡大していけるとよい。また、パブコメでも街路樹や公園の樹木に樹名札を、といったご意見があったが、公園の樹木については、地域で樹名札を作りしてつけるなどの提案がされるといい。【委員】
- ・ 計7回の検討会を経て、委員の皆さんのおかげで計画としてまとまった。事務局の皆さんには、計画を作ることを実感してもらえればと思っている。従来は公園を作ることを自身が目標であったが、今は良い街をつくるためのツールとして、公園、街路樹、農地などの緑を確保・整備していくという姿勢が重要である。パブコメの中でも、境界をなくして広く使えるようにしてはどうか、といったご意見も示唆に富んでいると思われる。みどりの指標について、今後の課題としては、市民の暮らしがどのように変わったかを示せられるとよい。これからは、計画の推進に邁進してもらいたい。【委員】

以上